

ほうきてごネットだより



八郷小学校では、東日本大震災で被災された人たちへ送る東北支援米づくりを行っており、4月19日に学校支援ボランティアの人たちと種蒔きを行いました。途中、機械にトラ

ブルが起こり、急遽、手作業で行うことになりましたが、子どもたちは真剣にボランティアさんの話を聞き、上手に苗床をつくることができました。子どもたちは、「みんなで作業をして、とても楽しかった。」「たくさん支援米をつくって、たくさんの人を笑顔にしたい。」などと話し、ただ作業を体験するだけでなく、みんなで協力することの大切さや誰かのために役立つことの大切さを学びました。今年も豊作でありますように願っています。



▲よろしくお祈りします！



▲種蒔きの場面

「学校支援地域本部」は「地域学校協働本部（ほうきてごネット）」になりました

問い合わせ先 八郷小学校 TEL:0859-68-2028

ALT通信

VOL.77



このコーナーは、ALT(外国語指導助手)によるエッセイを、英語と日本語で紹介します。

The Hino River is my favorite place in Mizokuchi. I love it in the morning when white birds fly over the water. I love it at noon when it looks like it's on fire. I love it when I can see it moving softly in the dark. When I go to the Hino to sit and think, it feels like I become the river. Peter Haleas becomes a trillion particles of rushing water. I become more than one small human being.

What is most special to me is seeing that there are many currents flowing the same way together at once. It makes me think of human beings. I live in Houki-cho with all of you. We all have our different lives, but we share the same days and the same place. In the end, like the Hino, all of us flow to the same end. I will try to accept other's differences and trust in our same twisting route of life. Peter

日野川は溝口で僕の好きな場所です。白い鳥が水面を飛ぶ朝が特に好きです。水面が燃えているように見えるちょうどお昼ごろも大好きです。日の暮れた暗い中でゆっくりとゆらゆら動くのを見るときもいいものです。日野川のほとりで座ってもの思いにふけると、自分自身が川になるような気がします。僕は一兆粒の水流となり、流れて行くのです。

日野川の一度に同じ方向に向かって流れるその様子が僕には特別なのです。そこに僕は人間というものを考えるのです。僕は皆さんと同じ伯耆町で暮らしています。僕たちはみんなそれぞれの暮らし

日野川の流れ



をしています。同じ日々や同じ場所を共有しています。結局、日野川の流れのように、僕たちはみんな同じ方に向かって流れているのです。僕は人との違いを受けとめ、同じように巡る自分たちの人生を大切にしていこうと思います。ピーター